

住まい

クローバーホスピタル

地域包括ケア病棟
回復期リハビリテーション病棟
医療療養病棟 特殊疾患病棟

老健リハビリセンター
クローバーヴィラ

入所 ショートステイ

クローバーデイケアセンター
通所リハビリ

準備中

クローバー
居宅介護支援事業所

クローバー
ヴィラクリニック

有料老人ホーム
クローバークラウド
入居 ショートステイ

クローバーホスピタル
在宅診療部

クローバークリニック
外来
訪問診療
訪問リハビリ

ひろき訪問看護ステーション
訪問看護 訪問リハビリ

- クローバーホスピタル
〒251-0025 神奈川県藤沢市鶴沼石上3-3-6
電話0466-22-7111
電話0466-22-7163(在宅診療部)
- クローバークリニック
〒251-0032 神奈川県藤沢市片瀬4-10-22
電話0466-22-5110(外来)
電話0466-24-5876(訪問診療)
- ひろき訪問看護ステーション
〒251-0035 神奈川県藤沢市片瀬海岸3-4-22
電話0466-55-3810
- 介護付有料老人ホームクローバークラウド
〒251-0032 神奈川県藤沢市片瀬4-10-22
電話0466-22-7500

ACCESS MAP



○電車でお越しの方…藤沢駅(JR、小田急、江ノ島電鉄)下車。
北口ロータリー1番バス乗り場より01系統、神明町経由高山車庫行き「ヤクルト前」下車1分。
○車でお越しの方…【東京方面より】藤沢橋交差点から約3キロ



老健リハビリセンター
クローバーヴィラ

〒251-0021 藤沢市鶴沼神明3-1-1

(入所) TEL 0466-55-3011 FAX 0466-55-3012
(デイケア) TEL 0466-24-5901 FAX 0466-22-3881
(居宅) TEL 0466-86-7040 FAX 0466-25-2812
<http://www.clover-villa.jp/>

20170515500

老健リハビリセンター
クローバーヴィラ



風香る湘南で
ずっと続くサポートを

Clover Villa



医療法人篠原湘南クリニック



理事長ご挨拶



医療法人 篠原湘南クリニック
理事長 篠原 裕希

皆様お元気でしょうか。

「世界史上例をみない超高齢化社会の到来」、これの意味するのは人口構成の急激な変化が経済・産業といった社会基盤に変革を促し、それらに支えられていた医療介護体制が一変するという事です。これが2025年問題です。

医療介護の分野では①地域医療構想のもと病床機能の分化促進、②地域包括ケアシステムの整備に伴う慢性期の考え方の見直しと在宅医療の充実、です。

①②は国策としての最優先課題です。

老人保健施設は、まさにその真只中にあり、その役割を果たすため、従来の概念を一掃し、新たなスキーム造りを求められています。

- I. ポストアキュート（急性期病院からの受け入れ）
- II. バックベッド（在宅患者さんの受け皿）
- III. 終末期と看取り
- IV. 認知症者への積極的対応

私達は、4つの命題を常に念頭に置き、地域に根ざしつつ、地域のニーズにこたえるべく一層努力することを惜しみません。これからも暖かく見守って下さい。

サービスの種類

老健リハビリセンター
クローバーヴィラ

クローバーデイケアセンター

- ★在宅復帰強化型
- 施設入所サービス
- ショートステイ

○通所リハビリテーション

建物概要

5階	通所リハビリ(定員30名)		
4階	認知症専門棟 入所療養室(40名)		
3階	入所療養室(30名)		
2階	入所療養室(30名)		
1階	通所リハビリ(定員77名)	クローバー 居宅介護支援事業所	準備中 診療所

老健リハビリセンター クローバーヴィラ



クローバーデイケアセンター



リハビリテーション

ご利用者様の自分らしく自立した生活と積極的な社会参加を目指し、
私たちは多くの社会資源と連携して支援します。

■個別性を重視したプログラムの実施

■セラピスト・ケアスタッフが協働で企画したプログラムの実施

在宅での生活を見据えたサポート

自分らしく自立した生活が送れるようご利用者様・ご家族様が

- ・どんなことに困っているのか
- ・どんなことが不安なのか
- ・どんなことが不便なのか
- ・どんなことが大変なのか

を知り、在宅復帰に必要な介護・看護・リハビリテーションを提供します。

しっかりとしたアセスメント

在宅生活を困難にさせるおしり(排せつにまつわること)とお口(食と口腔ケア)に対して、その方に合わせたケアでご家族様の介護負担を軽減し、在宅復帰につなげます。

目配り・気配り・心遣いを大切にしたケア

ご利用者様の心身状態において本当に必要なことを見定め、何をどのようにしたらいいかを配慮し、ケアプランに基づいたケアを提供します。そして在宅生活を続けていくために必要なサービスへのバトンタッチや、地域での活動に参加できるよう連携します。

認知症へのアプローチ

言葉でうまく表現できないご利用者様のメッセージや、ご家族様の心理状況の変化もまるごと受け止めてケアに当たります。在宅でご利用者様・ご家族様にとって暮らしやすく、双方とも体力や能力(機能)が維持できるよう配慮した環境整備をサポートします。

健康管理

日々の健康状況の確認・医療的処置、および健康相談も行います。

リハビリテーション

リハビリスタッフ(PT・OT・ST)のマネジメントにより、個々に合わせた活動や社会参加、生活の質を上げるサポートをします。

食事

疾患や嚥下状態に合わせて、幅広い食事形態を取りそろえております。

入浴サービス

広々とした浴場にどなたでも安心して入浴できます。



アクティビティ

体操・趣味活動など個性を重視した多様なプログラムがあり、充実した時間を過ごせます。



送迎

各種車両を取りそろえ、車いすの方でもそのまま乗車できます。